（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育て支援センターしらさぎキッズ			
○保護者評価実施期間	令和8年　1月　19日	～	令和8年　2月　13日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	31	（回答者数）	27
○従業者評価実施期間	令和8年　2月　9日	～	令和8年　2月　16日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　2月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団の中で周りに合わせて行動することや人に意思を伝えることなどを経験し、幼稚園や保育園での生活にもつながるスキルを身につけることができること	基準より多い職員を配置し、子どもの発達や特性に合わせたサポートを行うことで落ち着いて過ごせたという経験を積めるよう取り組んでいる	・研修等で職員のスキルアップ ・支援方法を振り返り、その時の子どもの状況に合わせた支援を考えていく
2	親子通園を通して"子どもの発達特性を理解する時期"の保護者の気持ちに寄り添ったり家庭生活や園生活の悩みに相談対応ができることや、子どもの困り感を共通認識しながら支援の方向を決めていくことができること	お子さんの様子を一緒に見ながら、その場でどのように関わったらよいのか手立てを話すことで、家庭生活で活かされたり園に保護者の言葉で伝えられ、更には園生活でも活かしてもらえるよう意識して伝えている	・職員のスキルアップ ・その時の子どもの状況に合わせた支援を考えると同時に保護者の気持ちの変化や揺らぎに気づき配慮する
3	職員一人一人の強みを活かしたチームワークがとれており、ミーティングや振り返りを日々行い支援について共有の目的がもてていること	職員それぞれの得意分野や雰囲気を活かしながら子ども一人一人に合わせた対応をしている	・職員の更なるスキルアップ ・引き続き日々の支援方法を振り返り、子どもの状況に合わせた支援を考えていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	単独通園になると保護者と対話する時間が短くなってしまうこと	・親子通園の間は困りごとをその都度聞きながらお話しする時間がとれているが、単独通園になると保護者と話をする時間が送迎時のみになるなど時間的な課題の要因 ・日々の記録や書類などが多いという業務負担の課題	・子どもと関わる時間や保護者と対面する時間にゆとりをもって対応し、保護者からいつでも話しかけやすい雰囲気づくりをする
2	部屋のスペースや安全上、体をおもいきり動かして遊ぶことが難しいこと	・その都度部屋を分けて過ごすなどの対応はしているものの、人数が多い日や安全確保のためにどうしても動きを制限せざるを得ないため、十分に体を動かせる状況がつくれない	・天気のいい日は中庭も開放し部屋の中と外に人数を分散しながら過ごせるようにする
3			

（別紙４）

公表　　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子育て支援センターしらさぎキッズ

公表日　令和8年　3月　25日

利用児童数 31　　回収数 27

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	2	0	0	少人数なので室内でもしっかり遊べる 人がいっぱいの時は少し狭い気がする	特に親子通園では人数が多くなるとスペースが狭くなり距離も近くなるので、状況に応じて隣の部屋も使いながら活動していきたいと思います
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	0	0	0	１～２人に1人ついてくれるので安心できる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	3	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	2	0	0	古民家で、家みたいな感じがあんまり施設っぽくなくて好き	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	0	0	2	困ったことに対して親身になって向き合ってくれる施設だと思う	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	2	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	3	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	0	0	0	毎回違うので、次は何をするのか楽しみにしている クッキングやプール、屋外活動もあるのがありがたい 季節を取り入れて活動していると思う	ご意見ありがとうございます。今後も楽しめる活動を考えていきたいと思います
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	7	5	5		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	1	0	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	0	1	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1	0	2	年1回面談があったらいいかなと思う	計画の見直し時期に個別にお話を伺うようにしていますが、その時以外にも面談のご希望があれば時間を調整させていただきますので遠慮なくお申し出ください
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	0	0	毎週のように相談に乗ってもらえる いつも楽しく話させてもらっている。子どもが 小さい時は特に話す人がいなかったので助けられた	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	8	2	5	今年度は先輩母の交流会があり、小学校の話などいろいろと知ることができ良かった。	今後も保護者同士の交流の場を提供できるよう考えていきたいと思います
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	0	1	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	0	0	0	毎回、療育での様子を教えてもらえる	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	4	2	10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1	0	4		今年度は室内避難、室外避難、引き渡し訓練と段階的に避難訓練を行っています 単独通園のクラスについては訓練の様子を掲示しておりますのでご確認ください
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	25	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	0	1	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	27	0	0	0	長く通っているのもあり、第２の家のような感覚	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	0	0	先生方がみんな優しいので大好きです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	2	0	0	親としても話しやすく通わせやすい 療育がなかったら1人で悩んで精神的にもっと 参っていたと思うので、居場所があってありがたい	これからも安心して楽しく利用していただける事業所でありたいと思います

（別紙５）

公表　　事業所における自己評価結果

事業所名	子育て支援センターしらさぎキッズ

公表日　令和8年　3月　25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用人数が多い日には子ども同士の距離が近くなりすぎてトラブルにならないように部屋を分けるなどして過ごすようにしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	基準より多く職員の配置をしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・遊ぶ場所と活動する場所を分けている ・建物の構造上完全バリアフリーは難しいが、つまづきやすい段差には段差部分が分かりやすいように黄色いテープを貼っている ・柱や敷居などのささくれが気になる箇所はすぐに補修している	危ないと思われる所は気が付いた時にその都度補修、対策をしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	使ったおもちゃは毎日消毒をして清潔な状態を心掛けている	室内の温度調節（特に冬の寒い時期）にはこまめに気をつけるようにする
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7	0	気持ちを落ち着かせることが必要な場合は部屋を変えて対応している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向け評価表に職員全員が目を通し、改善策や対応方法を話し合い共有している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員がそれぞれ気がついたことをいつでも言い合える雰囲気づくりを心掛けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		今後、外部評価については検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	職員全員ができるだけ同じ知識を得られるように同じ研修を受けられるようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	必要に応じて心理士による発達検査を行い、アセスメントをとって分析している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児発管だけでなく、現場で主に関わっている保育士や児童指導員の話を聞きながら共通理解をしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画に全員が目を通し、子どもそれぞれの目標を理解したうえで支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	毎月の活動予定を決める会議を職員全員参加で行い、詳しい内容や準備するものについても話し合って決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	季節感も感じられ、利用している子どもそれぞれの特性や発達に合わせた活動内容になるようにしている	ただ制作するだけではなく、子どもたちの「楽しい！」をより引き出せる活動を考えていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	その日の担当から全体の流れを聞き全員が共通認識をしたうえで、子どもそれぞれにどの部分でサポートが必要かを話し確認をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・職員全員でその日の気づきを話して情報を共有し、次の支援につなげるようにしている ・特に上手くいかなかったことについてはその日のうちになぜそうなったのか？どうすればよかったのかを話し合うようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	子どもの様子で特に気になる様子が見られた時には記録に残し、職員全員が目を通し確認をしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・子どもや保護者の状況や支援に必要な情報を共有するなど連携に努めている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・必要がある時や要請があった時には幼稚園や保育園に出向き状況確認や情報共有をして支援の方向性を確認している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	7	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	幼稚園・保育園との併行利用が多いので交流の機会を特別設けてはいないが行事はきょうだい児も一緒に参加できるようにしている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・お迎え時に必ずその日の様子を保護者と話す時間を設けている ・活動の様子を写真で伝えたり、成長を伝えながら今後の課題についてその都度話をしている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	発達についてや対応の方法などを学ぶ保護者勉強会を開催している	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	保護者会を開催してはいないが、保護者勉強会の後など保護者同士で話せる場をつくっている	今後、定期的に保護者の皆様が気軽に話すことができる場を考えていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	子どもや保護者の困り感や悩みに可能なかたちで対応できるようにその都度考えて対応に努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	職員全体で情報共有をし、再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止委員会の設置、研修会等を実施している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育て支援センター　しらさぎキッズ小郡			
○保護者評価実施期間	令和８年　1月　15日	～	令和８年　2月　13日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	42名	（回答者数）	30名
○従業者評価実施期間	令和８年　1月　26日	～	令和 8年　2月　6日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7名	（回答者数）	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　2月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な有資格者が親子通園を通じて発達の不安が生じた早期から介入し、日々の困り感に専門的な視点で寄り添えていることや、一人一人の特性に応じた支援を提供することで、良好な親子関係の構築を支えられていること。	親子通園の利点を活かし、活動中の姿を保護者と共有しながらその場で具体的な支援の手立てを助言をしている。 適切な関わりのモデルを目の前で示すことで保護者の深い理解を促し、家庭生活で活かしてもらうことを意識している。	職員の専門性をより高めるため、学びの機会を整えていく。日々成長する子どもの姿に寄り添った支援が出来るよう、振り返りを行いながら支援の質を細やかに見直していく。
2	手厚い職員配置を整えることで、子ども一人一人の発達段階や個別の特性に細やかに目を配り、必要なサポートを行えていること。	小集団でのやり取りを通じ、自分の気持ちを伝える力や周囲と調和する力を育みながら、困った時に大人へ助けを求める方法など、園生活に直結するスキルを身につけ、スムーズな社会参加へつながるよう日々の関わりを大切にしている。	職員の専門性をより高めるため、学びの機会を整えていく。日々成長する子どもの姿に寄り添った支援が出来るよう、振り返りを行いながら支援の質を細やかに見直していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員が日々の業務を行う中で保護者に「気兼ねなく声を掛けられる雰囲気や余裕」を十分に作り出せておらず、保護者が相談のタイミングに迷いを感じている現状があること。	相談体制の仕組みはあるが、心理的遠慮の発生などが要因として考えられる。	保護者の方に向けて相談体制の周知を再度行う。 保護者の表情や様子を見て職員からの積極的声掛けを行い、あえて余白の時間を作り出すことを意識する。
2			
3			

（別紙４）

公表　　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子育て支援センター　しらさぎキッズ小郡

公表日　令和　8年　3月　25日

利用児童数　42名　　回収数　30名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	0	0	0	・遊ぶスペース、集まりのスペースとしっかり分けられていていろいろ工夫されています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	0	0	1	・部屋ごとに活動の内容が決まっているので子供も混乱せずにできている。	・これからも特性に応じたわかりやすく安全な空間への配慮を、行っていきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	0	0	0	・いつもきれいにされています。 ・興味が変わりやすいのでおもちゃの入れ替えがあると嬉しいです。	・貴重なご意見をいただきありがとうございます。参考にさせていただきながら、今後も子どもたちが楽しめる環境づくりをしていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	0	0	0	・子供に無理のない内容で個別に対応してもらえていてとても感謝しています。 どの先生も共通認識で理解してもらえています。 ・個別に指導していただける時間があればもっといいと思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	0	0	0	・自分の子にすごくあった支援計画が作成されていた。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	0	0	0	・毎回違うプログラムで子供もとても楽しんでいます。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	30	0		・幼稚園・保育園との並行通園の方が多いことと、特性上優先する課題が他にあるため、行っておりません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	0	0	0	・勉強会があったり親子登園のため、他の家族の方々がいて話をする機会がありいろいろなことが知れて嬉しい。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	0	0	・気づけなかったこと等アドバイスをいただいたり助けてもらえています。 ・本人のその日の状況によって出来たりできなかったりという波があるので成長や変化を教えてもらえたらと思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	0	0	・困ったとき悩んだ時にしっかり話を聞いてもらえて適切な返答をいただけて心強いです。 ・相談をしていいのかタイミングを迷うので相談時間が具体的に決まっているとうれしいです。	・相談しづらい雰囲気でお気を使わせてしまい申し訳なく思います。声を掛けていただきやすい体制づくりを心掛けます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	0	0	0	・いつも小さな悩みでも共感してくださりありがたいです。 ・子供が頑張っていることや新しく出来るようになったことを共有してもらえて嬉しいです。 ・できた時にたくさん褒めてもらえることがうれしいです。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	27	1	1	1	・お弁当の時間に、保護者同志話せる時間があるのはいいなと思います。 ・親同士で関わる時間もあっていろんな共有ができています。家族みんながこの場所が大好きです。 ・分離クラスになっても勉強会や送迎の際に交流のタイミングがあります。	・親子通園から利用を始められることが多く保護者同志の交流を持つ時間があるため、父母の会の設置はしておりません。きょうだい支援については、年齢が低いきょうだい児さんが多いので、しらさぎの行事にお誘いし一緒に参加していただく中で、きょうだいの理解を支えるサポートを行っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	0	0	0	・色々な問題が発生した時に新しいサービスや支援をすぐに紹介してくださり助かりました。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	0	1	1		現在、個人情報に配慮しホームページでの活動報告等は行っておりません。毎月お配りしている予定表と一緒に行事予定をお知らせしています。業務についての自己評価はホームページで公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	0	0	0		

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	30	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	0	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	30	0	0	0	・「せんせい行く～」ってしらさぎの近くを通ると曲がれって言いだします。それぐらい安心して楽しく通っているんだなと感じます。 ・先生方のことが大好きで本当に楽しく安心できる場所として通えています。 ・先生のことが大好きで困っている時は助けてもらえる安心感が強いと思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	0	0	1	・とても楽しく通園しています。 ・自分から「行く」と言って楽しみにしている様子。 ・行けることを楽しみにしており、しらさぎの日はいつもより朝の準備が早くなっている。 ・しらさぎに行く日は朝からウキウキして「いつ行くの」と喜んでいます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	0	0	・いつも相談にのっていただき気持ちが軽くなります。 ・いつも親身になって相談にのってくださり、また子の成長を見守って下さりありがとうございます。しらさぎに通所できて本当に良かったと思います。 ・本人の様子をその都度よく観察して頂いているため、少しの情緒変化にも何かありましたか？と声を掛けてもらい親としてもとても安心できます。しらさぎに通い始めてから、本人の変化・成長に日々感心しています。 ・通う前は毎日といっていいほど子供の発達について悩んで落ち込んでいたけど、通いだして先生方の支援もあって、今は悩んでいるというよりこの子のためにいろいろしてあげよう、一緒に頑張ろうと、前向きな気持ちになれています。 ・その時々の体調に配慮してもらって、目に見えて分かるように成長できています。 ・親切に関わってくださるので満足している。 ・親自身も子供の対応にとても悩んでいて苦しい辛いと思うことが多くあったが、利用してからはその思いがだいぶ減った。感謝でいっぱいです。	

（別紙５）

公表　　事業所における自己評価結果

事業所名	子育て支援センター しらさぎキッズ小郡

公表日　令和 8年 3月 25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	当事業所では厚生労働大臣の定める基準の広さを準備しております。十分に身体を動かすことができるように、活動スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	厚生労働大臣の定める基準で必要とされている配置数を超えた職員配置で、サポートにあたらせていただいています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	スケジュールの提示や環境の整理を行い、 子どもにとってわかりやすく、活動しやすい空間づくりを心がけています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	感染症予防のため、使用した玩具の消毒を毎日行い、清潔で安全に気持ちよく過ごしていただけるよう心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7	0	必要に応じて、個別対応できる部屋や、衝立等で空間を分けるなど、個別対応がとれる環境となっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	定期的な職員会議や毎日のミーティングの中で、全職員が問題や課題を話し合い、改善策を共有・実践しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者からいただいた児童発達支援評価のご意見を全職員で共有し、対応策を検討し業務改善へとつなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	現在、第三者機関での外部評価は行っていません。	今後必要に応じて、実施の検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	事業所内研修や外部研修を行い、職員のスキルアップの機会をもっています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	その日の活動内容や個々に応じた支援内容 を職員全員で共有し、共通認識のもと支援 にあたっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	職員間に情報共有をしやすい環境や関係性があり、その日の気づきや支援の振り返りなど密な情報交換を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保護者の方のご要望があれば、幼稚園や保育園を訪問し、様子観察や情報共有を行っています。また積極的に園からの事業所訪問を受け入れ、支援の連携を図っています。	今後も、並行して通われているほかの福祉事業所や保育園、幼稚園等と情報を共有させていただき、より良い支援につなげていきたいと思います。

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	7		保護者を通して学校の先生等からの希望や依頼があれば、情報共有を実施しています。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	7	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		利用されているお子様の特性上、優先する課題があるため行っていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	発達特性を学ぶ機会となるように保護者勉強会を開催し、ご相談や療育の活動の中で子どもとの関わり方を個別に助言させていただいています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	送迎時の対面での相談や、SNSでの相談を随時受付け、子育ての助言やご家族への支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	親子通園から利用を開始されることが多く保護者同志の交流を深める機会があるため父母の会は設置していません。分離クラス移行後も送迎時や保護者勉強会、座談会などさまざまな交流の機会があります。	きょうだい支援については、きょうだい児の年齢が低い方が多いため、しらさぎの行事にお誘いし一緒に参加していただく中で、きょうだいへの理解を支えるサポートを行っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	できる限り迅速な対応に努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	子どもにはスケジュールボードや絵カード 等で視覚的に情報伝達を行い、意思疎通に努めています。 保護者には写真などで活動の状況をお伝えし相互理解に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等 を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想 定した訓練を実施しているか。	7	0	各クラスとも避難訓練を実施し、非常時に 対応できるよう努めています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止委員会の設置、研修等を実施 しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		